

新庁舎のレイアウト検討

・本テーマでは、「新庁舎のレイアウト」について議論します
 ・各ゾーンの「レイアウトの要件」を踏まえて、ゾーニングし、以下にレイアウト(案)を作成しています
 ・ここでは各ゾーンの新庁舎内の配置について確認し、建築設計にて庁舎内レイアウトの条件となる「レイアウトの基本的な方針」をまとめます。
 ・レイアウトは外部空間との連携も重要ですので、配置計画も踏まえて検討する必要があります。外部のアクセス条件については「参考資料②第3回審議会意見傾向まとめ」に前回の協議内容をまとめていますので参照ください

ゾーニング検討フロー

レイアウト(案)の作成ストーリーです

市民がよく使う窓口ゾーンと市民ゾーンは、来庁者が利用しやすいようなるべく集約したい。

・敷地面積狭い
 ・外部空間を充実したい
 →敷地に占める建物面積は減らしたい

それでも1フロアに集約したほうがよい

国道側は2階レベルからのアクセスも可能だし、各ゾーンを2フロアに分けて集約してもよい

市民ゾーンと窓口ゾーン、どのように2つのフロアに振り分けるか

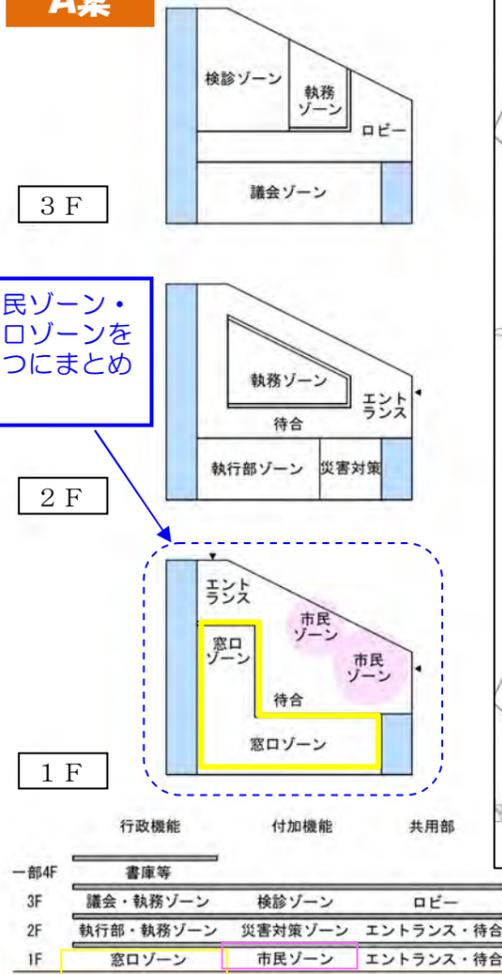
A案 市民・窓口ゾーンを共に1フロアに集約する

B案 市民・窓口ゾーンを2フロアで集約する + せめて1つのゾーンは1フロアに集約する

C案 市民・窓口ゾーンを2フロアで集約する + 1つゾーンとも上下に分かれてよい

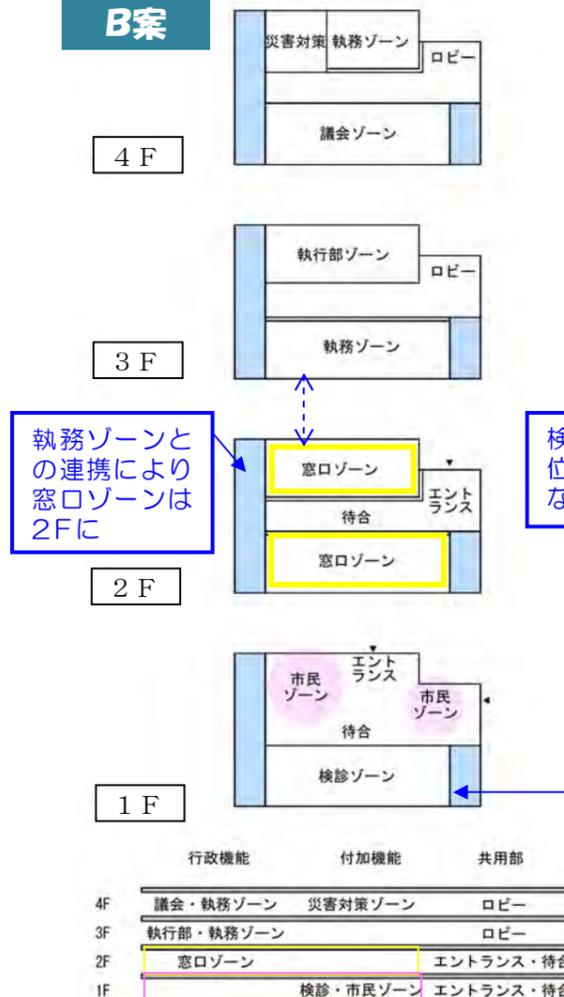
ブロックプラン(案)

A案

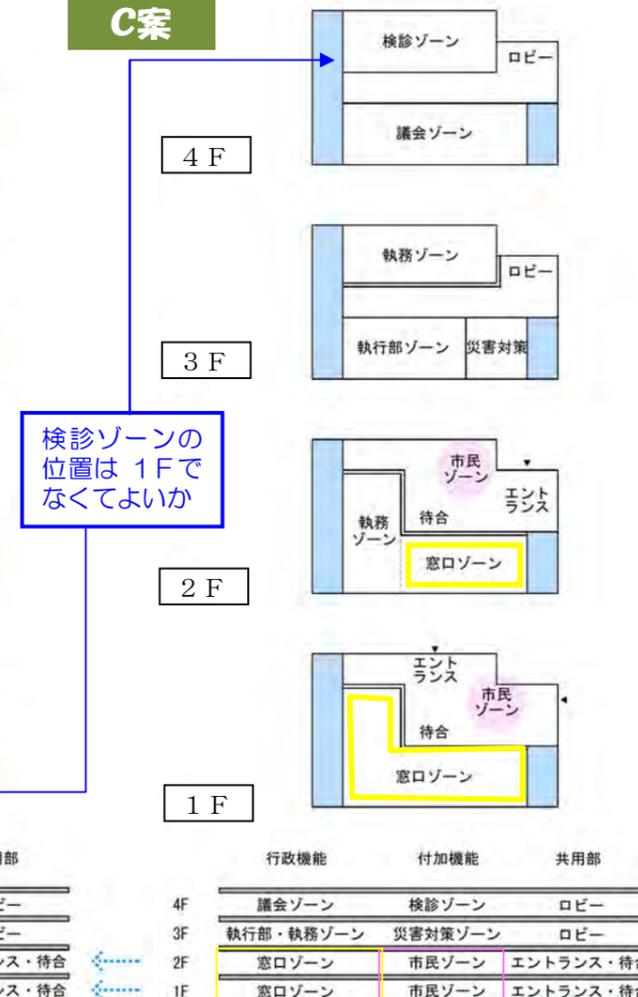


各案を立体的にまとめたものです

B案



C案



窓口ゾーン	ワンフロア化でき利便性が高い
市民ゾーン	1階に集約でき、広いスペースが確保しやすい
検診ゾーン	議会ゾーンと同フロアになるため区画や運用面での工夫が必要
防災機能	執行部と災害対策機能が同フロアであり連携が図りやすい
屋外環境	建築面積が大きく外部空間が狭隘
室内環境	奥行きが深く自然採光が得られ難い

各案の特徴をゾーン別にまとめたものです

窓口ゾーン	ワンフロア化でき利便性が高いが、2階が庁舎主階となる
市民ゾーン	1階に集約でき、広いスペースが確保しやすい
検診ゾーン	1階にあるため利便性が高く、検診車との連携も図りやすい
防災機能	執行部と災害対策機能が別フロアとなり連携が図り難い
屋外環境	建築面積が小さく外部空間が確保しやすい
室内環境	奥行きが浅く自然採光が得られやすい

窓口ゾーン	1・2階に分かれる
市民ゾーン	1・2階に分かれる
検診ゾーン	議会ゾーンと同フロアになるため区画や運用面での工夫が必要
防災機能	執行部と災害対策機能が同フロアであり連携が図りやすい
屋外環境	建築面積が小さく外部空間が確保しやすい
室内環境	奥行きが浅く自然採光が得られやすい